発行日：2016年10月19日
担　当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
（一般財団法人　日本花普及センター）

いい花の新基準。
JAPAN FLOWER SELECTIONS

JAPAN FLOWER SELECTIONS
ジャパンフラワーセレクション受賞
2016-2017

ジャパンフラワーセレクション2016-2017　ガーデニング部門

夏秋審査会　審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、春に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する夏秋審査会において、18品種の審査を実施し、17品種を推奨品種として選定しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時:
夏秋審査会①　2016年6月30日（木）14:00～17:00
夏秋審査会②　2016年8月11日（木）13:00～17:00
夏秋審査会③　2016年9月30日（金）13:00～17:00

■開催場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター
（千葉県柏市）

■選定品種：ガーデニング部門　夏秋審査対象18品種

■入賞品種：17品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、
花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

福永　哲也	豊明花き㈱　代表取締役社長（ガーデニング部門長）
尾崎　明弘	㈱オザキフラワーパーク　代表取締役
杉井　志織	はなぐみ　代表
田中　義一	㈱フラワーオークションジャパン　営業本部開発室課長
山口　まり	（一社）日本ハンギングバスケット協会理事
渡辺　均	千葉大学環境健康フィールド科学センター准教授

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局＞
TEL　０３－３６６４－８７３９
FAX　０３－３６６４－８７４３
E-mail：jfpc@jfpc.or.jp
ホームページ： http://www.jf-selections.net

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（ＪＦＳ）とは、２００６年４月からスタートした日本で唯一の統一的な花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。
審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の３部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（ＪＦＳマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞

このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション　ガーデニング部門のご案内

＜冬春審査会　出品募集中！＞

ポット苗のご出品はこちらへ！

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録つけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■出品料：1品種30,000円（税別）
＊以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。
（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①(一財)日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A
（都道府県、各種団体、企業、協同組合）
もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員
＊千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。
（苗の納入日は変更になる場合があります）

▲千葉大の審査花壇の様子

■JFS出品対象品種
① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね５年以内の品種
② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの
（海外で育種されたものも含む）

▲審査の様子

■JFS出品申請者資格
以下のいずれかに該当する方が出品可能です。
① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
② 契約により日本における販売代理を持つ者
（海外で育成された品種も出品可能）

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞
TEL　０３－３６６４－８７３９　　FAX　０３－３６６４－８７４３
E-mail：jfpc@jfpc.or.jp　　ホームページ： http://www.jf-selections.net

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

■ ジャパンフラワーセレクションの授賞体系について

1. 入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、JFS受賞品種は業界として自信をもって推奨できる品種です。入賞品種は以下の2～4の各賞の対象となります。

2. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での入賞品種（10点満点の7.0以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。

「モーストジョイ特別賞」
気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」
花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」
これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「カラークリエイト特別賞」
花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」
斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」
芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」
日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」
高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」
育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「モニター特別賞」
春・秋審査会での一般消費者のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。（切花部門・鉢物部門のみ）

3. ベスト・フラワー（優秀賞）

各部門で10点満点の平均点が8.0以上の品種に授与します。花や葉の美しさなど、品種特性の優位性や新奇性に加えて、生活者の視点から「育てやすさ」「購入しやすさ」「飾りやすさ」なども評価し、総合的に優秀と認められる品種です。

4. フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

年末に開催される中央審査委員会で、年間を通じて開催された各審査会でベスト・フラワー（優秀賞）を授与した品種の中から、その年を代表する最も優れた品種に授与されます。各部門ごとに1品種ずつ選定されます。

■切　花　部　門・・・・・・1品種
■鉢　物　部　門・・・・・・1品種
■ガーデニング部門・・・1品種

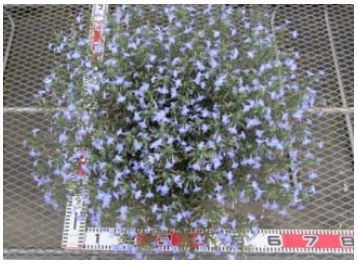
日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2015授賞式
（学士会館）

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニューバリュー特別賞　同時受賞］

品 目 名　：ロベリア
品 種 名　：空色てふてふ　青空ブルー
受 賞 者　：松原園芸(群馬県)
育 成 者　：松原園芸
審査講評　：　4月19日に植栽し、1か月後程から花数が増えたが、その後も連続開花し続け、株のバランスも美しく保っていた。耐暑性に優れ、暑い中でも咲き続けた。株に近づいて見ると若干咲き終わりの花ガラが気になるという意見もあったが、離れて見たところブルーの爽やかな色は十分に美しく観賞の価値があった。

屋根付き施設内ではピンチした鉢は、9月末でもまだ花も株も美しさを保っていた。消費者にピンチの有効性と方法を伝えるとよりよく長く楽しめることだろう。
強い耐環境性に加え、夏にはアメリカンブルー等にしかなかった花色がなによりも魅力的で、夏の素材として重要。ガーデンデザインの多様性や可能性を広げる品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を受賞した。

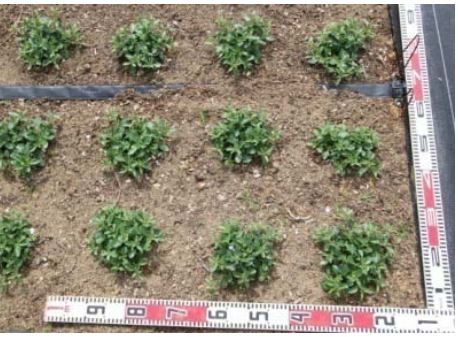
▲定植後21日の屋根付き施設での様子（5/10撮影）



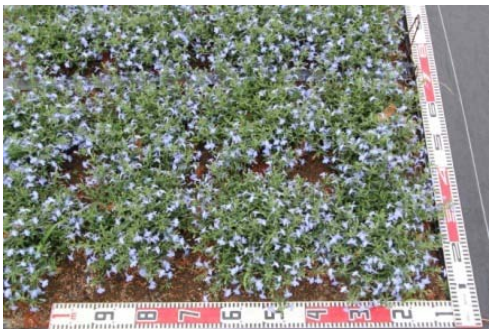
▲定植後71日の屋根付き施設での様子（6/29撮影）＊7/6切り戻し

▲定植後98日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）＊切り戻し後20日

▲定植後111日の屋根付き施設での様子（8/8撮影）



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子（4/25撮影）



▲定植後36日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）

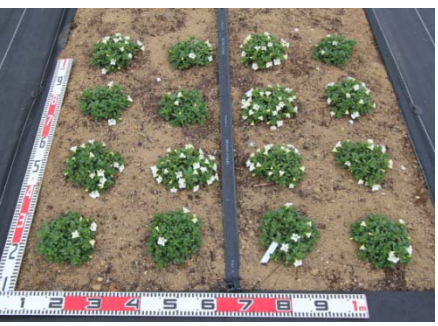
品 目 名 ：カリブラコア
品 種 名 ：ティエルノ　ホワイトver. 2
受 賞 者 ：松原園芸(群馬県)
育 成 者 ：松原園芸
審査講評 ：　涼しげな白色のカリブラコア。花の中心部の緑色が爽やか。
ドーム型にならずにほふくする草姿で、連続開花性がある。咲き進んでも花の大きさが小さくならなかった。また、生長しても株の中心部がドーナツ状に抜けることもなく、花ガラは埋もれていくので目立たないところも扱いやすい。ピンチをすれば、よりまとまりよく、安定的に長く楽しめる。
株の低さをあえて強調して、グランドカバープランツとしての用途を提案してもよいだろう。
ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。

▲定植後27日の屋根付き施設での様子（5/23撮影）

▲定植後50日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）＊7/6ピンチ

▲定植後102日の屋根付き施設での様子（8/8撮影）



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子（5/9撮影）

▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後102日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞］

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：妖精のチュチュ フェアリーピンク
受 賞 者　：松原園芸(群馬県)
育 成 者　：松原園芸
審査講評：

ふんわり優しく広がる草姿、桜貝のような白味のピンク色の花弁に赤い縁取りは、その品種名のかわいらしさとマッチしている。

生育は旺盛で、立ち上がりながら横に広がる性質は、かなりのボリュームが出るので、植栽間隔を広めにとることが重要。販売時にこのパフォーマンスが伝わるような工夫をすることで商品性がより高まるだろう。

高温期にも安定感のある育ち方は、個人使用だけでなく、公共植栽の素材としても十分に楽しめる。

ベスト・フラワー(優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

▲定植後14日の屋根付き施設での様子（5/10撮影）

▲定植後27日の屋根付き施設での様子（5/23撮影）

▲定植後64日の屋根付き施設での様子（6/29撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）
*7/6ピンチ

▲定植後91日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）
*ピンチ後20日

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（4/27撮影）

▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後62日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞］

品 目 名　：マンデヴィラ
品 種 名　：サンパラソルジャイアント
　　エンペラーズクリムゾン
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
育 成 者　：里見　朝也
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：

　濃くて格調高い赤色の花、花の大きさにもインパクトがある。高温になると赤色が退色する品種や逆に花色が濃くなる品種もあるが、この品種の花色は安定しており、連続開花性という面からも改良がなされている。赤色の花と濃くつややかな葉色の対比も美しかった。

　分枝性も改良されており、低い位置から開花するので、高く生長しても株元がさみしくならない点も評価された。

　花色、花型、花数、全体のパフォーマンスが優秀な品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（4/27撮影）

▲定植後38日の屋根付き施設での様子（6/3撮影）

▲定植後62日の屋根付き施設での様子（6/27撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）

▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子（7/26撮影）

▲定植後104日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

▲定植後128日の露地花壇・群落植栽の様子（9/1撮影）

▲定植後141日の露地花壇・群落植栽の様子（9月14日撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞］

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：スーパーチュニア
　ビスタミニブルースター
受 賞 者　：株式会社ハクサン(愛知県)
育 成 者　：Plant 21　LLC
育成者権者：株式会社J&Hジャパン
審査講評：

　青色と白色の爽やかなバイカラーがくっきりと出る小輪タイプのペチュニア。このインパクトある複色は、栽培観察中のどの時期に見ても退色なく安定していた。

　小輪の花が多くつき、にぎやか。ピンチをしてもしなくてもよく咲き、草姿もコンパクトで大きく乱れることが無い。

　分枝性、連続開花性があり、花色の安定感、花がらが目立たない手間のかからなさ、どれをとってもよく考えられた育種。安心して消費者におすすめできるすばらしい品種としてベスト・フラワー(優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

▲定植後0日の屋根付き施設での様子（5/24撮影）

▲定植後22日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

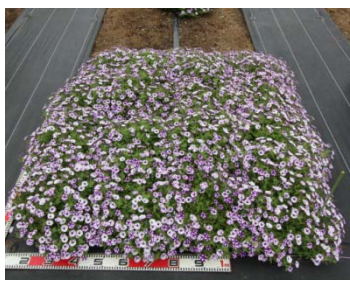
▲定植後50日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）
*7/6ピンチ

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）＊ピンチ後20日

▲定植後22日の露地花壇・群落植栽の様子（6/15撮影）

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子（7/13撮影）
*7/6ピンチ

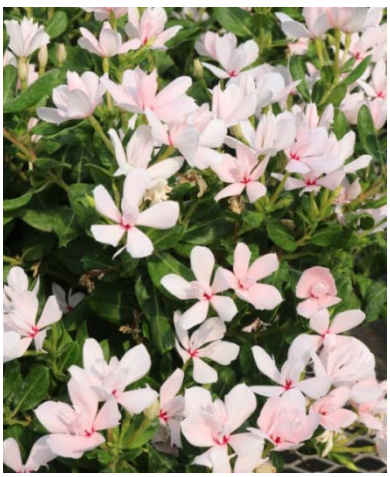


▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）
＊ピンチ後33日

ガーデニング部門夏秋審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ特別賞、ニュースタイル特別賞 同時受賞］



品 目 名　：ニチニチソウ
品 種 名　：ソワレ　ピーチ
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
育 成 者　：山田　将弘
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：　オレンジ味をおびたペールピンクのやさしい花色。花弁の中心から、数枚の細い花弁が伸びてきて八重咲きの様になる個性的な花形のニチニチソウ。葉は少し撚りの入った照り葉。

花の高さに多少の高低が出て、風に揺れるような観賞価値がある。花の高さが揃っていなくても株揃いの良さは感じられた。

耐暑性があり、ボリュームも出るが、生育は比較的緩やか。花壇に直接植栽しても、コンテナでもオールマイティに楽しめる。八重咲き品種のため種子ができないことから、生育後期になっても花数が減らない点も優れている。

これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与える品種としてベスト・フラワー(優秀賞）とニュースタイル特別賞、楽しい気分をもたらしてくれる品種としてモーストジョイ特別賞を同時受賞した。

▲定植後22日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後50日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）

▲定植後100日の屋根付き施設での様子（9/1日撮影）

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子（7/13撮影）

▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子（9/14撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞　同時受賞］

品 目 名　：ニチニチソウ
品 種 名　：フェアリースター　パープル
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
育 成 者　：山田　将弘
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：

細めの花弁の小輪系ニチニチソウ。赤みのある紫色で、単色遣いだけでなく、明るい色との組み合わせで寄せ植えしても濃い色味が生きてくる。開花期間中、花色は安定していた。

生育は旺盛で、花は休まず咲き続け、株のバランスも良い。枝の伸びに長短が出るところも動きが出て、夏には涼しげでよい。

かなり大株になるので、消費者の満足度は高いと思うが、植栽間隔を誤らないよう注意したい。

扱い易く、育てやすい優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

▲定植後0日の屋根付き施設での様子（5/24撮影）

▲定植後36日の屋根付き施設での様子（6/29日撮影）

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）

▲定植後112日の屋根付き施設での様子（9/13撮影）

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子（9/14撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニューバリュー特別賞　同時受賞］

品 目 名　：皇帝ダリアハイブリッド
品 種 名　：ガッツァリアダブルピンク
受 賞 者　：株式会社ミヨシ(山梨県)
育 成 者　：天野良紀、鹿毛哲郎
育成者権者：株式会社ミヨシ
審査講評：

皇帝ダリアと園芸ダリアのハイブリッド。明るいピンク色の花色で、八重咲の品種。

一重系の皇帝ダリアハイブリッドと比較すると1～2ヶ月程度開花が早く、8月頃から開花し、草丈がコンパクトになっていることが最大の特徴。暑い時期に花の傷みや病害虫の害が無い点も見事。

これまでの皇帝ダリアは公共の公園などに向く植物と考えられていたが、支柱の立て方などの栽培情報を提供すれば、一般の消費者が新しいガーデニング素材として楽しむこともできる。

ガーデンデザインの可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種としてベスト・フラワー(優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞した。

▲定植後9日の屋根付き施設での様子（6/3日撮影）

▲定植後21日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後49日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

▲定植後100日の露地花壇・群落植栽の様子（9/1撮影）

▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子（9/14撮影）

ガーデニング部門夏秋審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ジャパンデザイン特別賞

品 目 名　：ダイアンサス
品 種 名　：ジョルト　ピンク
受 賞 者　：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Linda Laughner
育成者権者：PanAmerican Seed
審査講評　：　濃く鮮やかなピンク色の花が、いろいろな高さで毬のように咲く。耐暑性があり、花上がりが良く連続開花性がある。花ガラや枯れた茎の手入れは必要だが、夏に和の雰囲気のある植物は貴重。単品使いより、他の植物との組み合わせに活躍しそう。
　日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパンデザイン賞を受賞。

▲定植後14日の露地花壇での様子（5/25撮影）

▲定植後34日の露地花壇での様子（6/27撮影）

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）

カラークリエイト特別賞

品 目 名　：マリーゴールド
品 種 名　：ストロベリーブロンド
受 賞 者　：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
育 成 者　：Blair Winner
育成者権者：PanAmerican Seed
審査講評　：　耐暑性、連続開花性があり、花つきが良い。花弁は波打ち、優しい雰囲気。
　フレンチマリーゴールドとしては珍しく、中間色の花が開花する品種。少しベージュがかっているので、シックなアンティーク調の印象もある。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されるカラークリエイト特別賞を受賞。

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

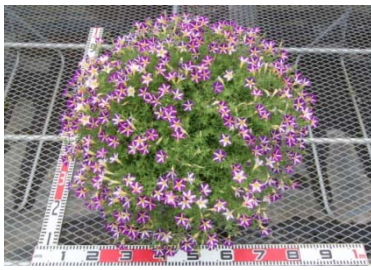
入賞

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：サフィニアアート　ブルーイエロー
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育 成 者　：山田　将弘
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：　バイオレットの花弁の中央に黄色の星形が入るバイカラーの中輪品種。生育は非常に旺盛。株のボリュームに対して花色がやや地味に見え、星の入り方や花色にもばらつきが出たが、切り戻しを行うことで復活した。手入れ方法の情報提供をすることで、この品種の価値は高くなる。

▲定植後27日の屋根付き施設での様子（5/23撮影）

▲定植後50日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）＊ピンチ7/6



▲定植後104日の屋根付き施設での様子（8/8撮影）＊ピンチ後33日

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：サフィニアアート　ももいろハート
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育 成 者　：山田　将弘
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：　白い丸弁にピンク色のハート模様が入るかわいらしいペチュニア。色の出方は、露地花壇より鉢植えのほうが安定してくっきりと出ていた。また、暑くなるほど色がはっきり出てきた。
　品種名と植物の様子がよく連動していて、母の日の贈り物用などの鉢植え用の商品化も期待できる。

▲定植後13日の屋根付き施設での様子（5/10撮影）

▲定植後50日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）＊ピンチ7/6

▲定植後91日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）＊ピンチ後20日

入賞

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：サフィニアフリル　コーラルピンク
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育 成 者　：宮崎　潔
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：重ねの多い八重咲き品種。濃いコーラルピンクの花色は高温期にもボケることなく、連続開花した。切戻しを行うことで、草姿や花数・花色も安定する。花壇植えもできる八重咲き品種として貴重だが、鉢物として手元で細かく手入れをしながら楽しむのもおすすめ。

▲定植後14日の屋根付き施設での様子（5/10撮影）

▲定植後50日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）＊ピンチ7/6

▲定植後91日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）＊ピンチ後13日

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：ブリエッタ　イエローマジック
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育 成 者　：山田　将弘
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：　透明感のあるクリアな黄色。黄色い品種は葉も黄色っぽくなりやすいが、この品種は葉色とのバランスも良くできている。単品使いも良いが、グリーンがかった黄色は、他の色との馴染みも良く、寄せ植えの素材としても活躍しそう。耐環境性、連続開花性が高く、花型の変化もなく有望な品種。

▲定植後14日の屋根付き施設での様子（5/10撮影）

▲定植後27日の屋根付き施設での様子（5/23撮影）

▲定植後78日の屋根付き施設での様子（7/13撮影）

▲定植後104日の屋根付き施設での様子（8/8撮影）

入賞

品 目 名　：ペチュニア
品 種 名　：星咲きあんぺちゅ～ピンク～
受 賞 者　：あんだち園芸(千葉県)
育 成 者　：安達勝司
審査講評　：星形に開花する花型に特徴のあるペチュニア。遠めで見るより、花型がよくわかる近さで見るのも良い。立ち性品種なので、株元がさみしく見えないよう、寄せ植えの中のワンポイントなどにも向く。
　茎と葉のバランス、花の萼片が少し目立つところなど、改良点はまだあるかもしれないが、花型のかわいらしさが目をひく魅力的な品種。

▲定植後22日の屋根付き施設での様子（6/15撮影）

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）

▲定植後100日の屋根付き施設での様子（9/1撮影）＊8/16切り戻し

▲定植後112日の屋根付き施設での様子（9/13撮影）＊切り戻し後28日

品 目 名　：ユーフォルビア
品 種 名　：グラマー
受 賞 者　：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
育 成 者　：Scott Trees
育成者権者：PanAmerican Seed
審査講評　：白い苞が高温期にも止まることなく発生し続ける丈夫な品種。葉色も涼しげなさわやかなグリーン。　開花する枝としない枝のばらつきが多少みられるが、暑い時期に非常に生育旺盛でz、日照不足や降雨続きにも蒸れることがなかった。一般の消費者の利用だけでなく、造園用としても活用できる。

▲定植後22日の露地花壇での様子（6/15撮影）

▲定植後50日の露地花壇での様子（7/13撮影）

▲定植後76日の露地花壇での様子（8/8撮影）

▲定植後100日の露地花壇での様子（9/1撮影）

入賞

品 目 名　：カリブラコア
品 種 名　：ティエルノ　ダブルホワイト
受 賞 者　：松原園芸（群馬県）
育 成 者　：松原園芸
審査講評　：白色の八重咲きのカリブラコア。連続開花性もあり、株もコンパクトで、非常に強健な品種だが、高温期に花が少し小さくなり目立たなくなった。葉の涼しげな緑色は継続してずっと美しかった。若干花より、緑が勝っている点が改善されればさらによい。

▲定植後1日の露地花壇での様子（5/25撮影）

▲定植後34日の屋根付き施設での様子（6/27撮影）

▲定植後63日の屋根付き施設での様子（7/26撮影）

▲定植後76日の屋根付き施設での様子（8/8撮影）